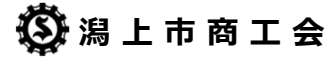


令和元年度 潟上市商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日



1 評価の実施

■ 評価方法

評価は、プランの体系を成している5つの戦略、9の施策、21の事業を対象に、推進状況の把握や課題を抽出し、進行管理や効果的な推進のため、「商工会創生プランに係る戦略・施策・事業評価の実施要領」に基づき、数値目標の達成度や事業等の必要性・有効性・効率性の観点から一定の基準に照らして、自ら毎年度評価を実施します。

また、評価結果については評価委員会を設置し、自己評価の客観性を確保することとしています。

こうした取組を通じて、改善点を今後の商工会活動に反映させ、社会経済情勢の変化等に応じて緊急度が高く迅速性が求められる取組は計画に関わらず実施するなど、常に見直しと改善を行いながら、アクションプログラムの着実な推進と経営支援活動の一層の拡充につなげていきます。

2 評価結果の概要

■ 評価結果

戦略・施策・事業評価結果は次のとおりであり、プラン全体としては「概ね順調」に推移しています。

戦略評価：5戦略

A(順調) 0戦略

B(概ね順調) 3戦略

C(一部未達成) 2戦略

5つの戦略のうち、3戦略は概ね順調に進んだものの、C評価となった「育て・挑戦を支える商工会」戦略と、「事業者が主役の商工会」戦略については、国や県の重点推進施策の動向などによって目標設定や評価に影響することから、今後適正な評価になるよう目標設定のあり方や基準等の見直しを行います。

施策評価：9施策

A(順調) 1施策

B(概ね順調) 6施策

C(一部未達成) 2施策

9の施策は、A評価とB評価を合わせて約77%となり、計画通りに進んでいます。特に「充実した個社支援のための組織のあり方検討」及び「受託事業の見直し」の両施策は、2019年3月に計画認定を受けた「経営発達支援計画」に基づく地域小規模事業者の持続的発展に向けた支援活動のための基礎固めにつながる成果を果たしました。

事業評価：21事業

A(順調) 3事業

B(概ね順調) 12事業

C(見直しが必要) 6事業

21の事業については、特に、2017年に実施した全会員事業所を対象とした「未来意向調査」、続く2018年に実施した非会員事業者に対する巡回訪問を経て得た、これからの事業活動に応じたニーズや課題をベースに、事業者個々に必要な支援策を整理・共有することができました。

■ 評価結果の活用

評価結果は、プログラム全体の方向性や今後の展開を検証する材料や推進方策に反映させるほか、次年度事業の企画・立案や次期アクションプログラムの策定等に活用します。